

市と福岡女子大学は現在、協定を結び、さまざまな地域づくりの現場で人の交流や双方の資源活用を進めています。その一つが学生インターンシップで、市民と学生の顔と顔が見える交流を基本とした取り組みをしています。学生に市へ新たな風を吹き入れてもらうことで地域活力が向上し、地域がより輝くことを、学生が地域とともに活動することで実社会活動力を向上させることを目指しています。今回は、取り組み概要と今年度誕生した学生企画を紹介します。



福津市・福岡女子大学包括的連携事業

広がる！ 地域と学生の交流

あんずの里市の皆さんと学生たち

学生企画！ ふくつベジボックス

ふくつベジボックスは、生産者直売所・あんずの里市の野菜を第2・4木曜日に、大学で販売する取り組みで、平成24年の夏に始めました。

取り組みの中心となっているのは、福岡女子大学2年小松原由葵さんです。インターンシップを通して小松原さんが知った福津の魅力「福津の食の豊かさ」と生産者の思い。この魅力を大学からも発信したいという思いから、小松原さん自ら取り組みを企画し、



毎回盛り上がるベジボックス販売

あんずの里市の皆さんや大学関係者などへ提案、協力を得て、企画が実現しました。単なる野菜販売だけでなく、生産者の皆さんとお客さんが直接話をしながら交流できるように工夫もしています。スタート時は学生だけだったお客さんが、今は教職員のかたや地域のみなまでお客さんとなり、輪が広がっています。

あんずの里市利用組合組合長の柴田文敏さんからの「福津の野菜を通して、本物の食材を見極める目を持つ学生さんが増えてくれるとうれしい。企画を実施して良かった」という声に、小松原さんは「学生と交流する生産者さんがいらっしょってこそこの企画。柴田さんたちのご期待に応えられるよう、さらなる拡大を目指します」と話しています。今後、市としても、福津への思いから誕生する学生企画を支援し続けたいと考えています。

福津で活動する学生と語ろう！

市内で学生がどのような取り組みをしているのかを学生たちが発表します。発表の後、学生たちとゆっくり語り合いませんか？たくさんのご参加、お待ちしております。

- 日時／3月9日(土) 13:30~16:30
- 場所／津屋崎千軒なごみ ■定員／40人(要申込)
- 申込・問い合わせ／市商工観光課(津屋崎庁舎) ☎52・4951



昨年時発表の様子

女子大生、ここで活動しています！

平成24年度の主な活動を簡単に紹介します

福津クイズは正解者続出！
～郷育カレッジ講座にて～

ワークショップも盛り上がりました
～郷育カレッジ講座にて～

本町での通学合宿

津屋崎人形の絵付け体験

松林保全活動は月1回の語りの会も

宮地浜松林保全活動(毎月第1日曜)



学生記者 インターンシップ

1年間の体験取材を通して、まちの人の活動に対する熱い想いを体感・深く理解をし、学生が自分の言葉で情報発信する取り組みです。平成24年度は、宮地浜の松林保全活動、津屋崎人形の工房、本町通学合宿を活動の場としました。また、広報ふくつおしらせ版(毎月15日号)、商工観光課ホームページ「ふくつのじかん」、フェイスブックなどを通して、学生の声を発信しています。

郷育カレッジ 企画・運営

郷育カレッジについて講座スタッフの経験を重ねながら深く理解し、学生企画を実施する取り組みです。

1月11日に「女子大生の企画に参加してみよう」という講座を福岡女子大学で開催しました。学生が自分たちの大学について、発表や学内散策などを通して説明。予想以上にしっかりとっている学生の姿に、受講生の皆さんからは驚きの声が多数あがりました。

ふくつベジボックス 学内販売

生産者直売所「あんずの里市」の野菜を月2回、大学で販売する取り組みです。野菜販売を通して、農家さんと学生さんとの交流が深まっています。